

令和 6 年度実績

# 一般廃棄物処理の現況

(令和 8 年 3 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課



# 目 次

## I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量 .....	1
(2) 各ブロックの状況 .....	3
(3) 災害廃棄物の状況 .....	5
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 島根県全体の状況 .....	6
(2) 各ブロックの状況 .....	7
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 島根県全体の状況 .....	10
(2) 各ブロックの状況 .....	11
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 島根県全体の状況 .....	24
(2) 各ブロックの状況 .....	25
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	28
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口 .....	34
(2) し尿処理の状況 .....	35
(3) し尿処理施設 .....	36
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(2) ブロック別のごみ処理事業経費の概要.....	37
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	41
7-3 委託・許可件数.....	41
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	41
8. ダイオキシン類対策等の状況 .....	42



# I 概要編



## 1. ごみ処理の概要

### (1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理量の推移を表 1-1 及び図 1-1～4 に示す。

令和 6 年度における県内のごみ総排出量は 209,383t (うち、生活系 142,629t、事業系 66,754t) であり、前年度に比べ約 2.6%の減少となっている。ごみ総排出量のうち、生活系ごみは減少傾向にあり、事業系ごみは令和 5 年度に微増したものの概ね減少傾向となっている。また、集団回収量は減少傾向が続いている。

令和 6 年度の計画収集人口は 642,985 人 (外国人含む) で、総人口の 100%である。自家処理人口が 0 人となったことにより、県内のごみ処理はすべて計画収集により行われることとなった。

1 人 1 日当たりのごみ排出量は 892g、うち生活系ごみは 608g であり、いずれも前年度より減少している。

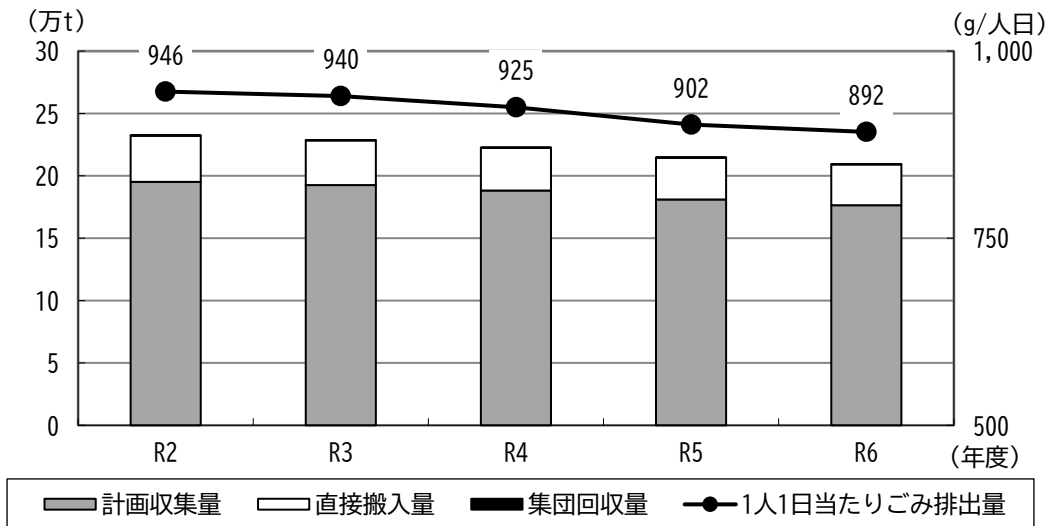
災害廃棄物処理量は、令和 6 年度は発生していない。

表1-1 ごみ総排出量と処理量の推移

区 分	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総人口※1	人	673,778	666,659	659,863	650,969	642,985
計画収集人口	人	673,618	666,500	659,708	650,845	642,985
自家処理人口	人	160	159	155	124	0
計画収集率	%	99.98	99.98	99.98	99.98	100
ごみ総排出量	t	195,124	192,608	188,029	181,042	176,429
直接搬入量	t	37,021	35,810	34,368	33,515	32,658
集団回収量	t	408	362	377	312	296
合計	t	232,553	228,780	222,774	214,869	209,383
生活系ごみ	t	159,664	157,128	155,036	146,429	142,629
事業系ごみ	t	72,889	71,652	67,738	68,440	66,754
ごみ総処理量	t	233,583	231,029	224,168	214,882	209,073
直接焼却	t	175,351	172,745	169,521	164,803	160,202
焼却以外	t	51,501	51,604	48,583	44,064	43,485
直接埋立	t	6,731	6,680	6,064	6,015	5,386
1人1日当たりごみ排出量	g	946	940	925	902	892
1人1日当たり生活系ごみ排出量	g	649	646	644	615	608
災害廃棄物処理量※2	t	786	1,663	0	51	0

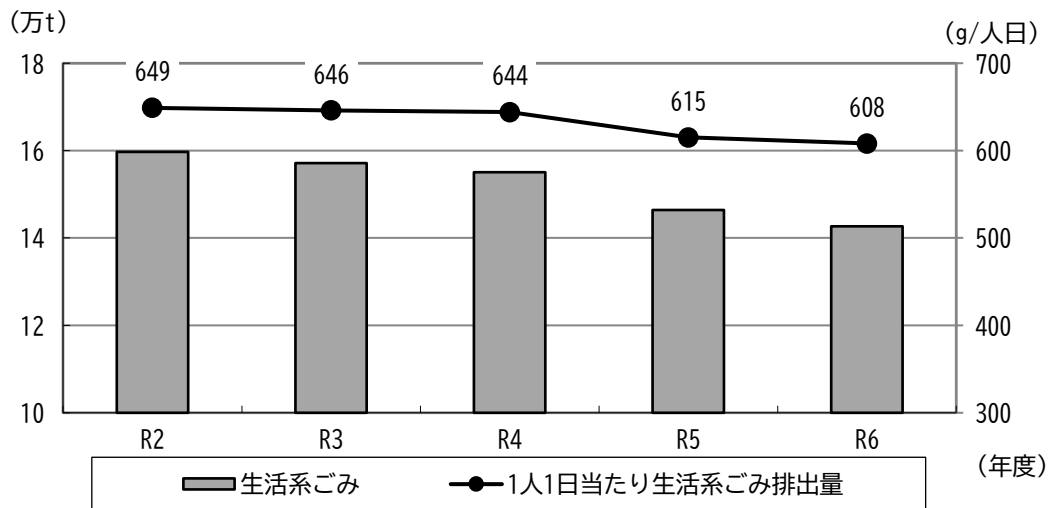
※1. 総人口には外国人を含んだ人口

2. 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の外数



注) 1人1日当たりごみ排出量 (g/人日) = ごみ総排出量 / 総人口 / 365日 (365日) × 10<sup>6</sup>

図1-1 ごみ総排出量の推移



注) 1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g/人日) = 生活系ごみ排出量 / 総人口 / 365日 (365日) × 10<sup>6</sup>

図1-2 生活系ごみ排出量の推移

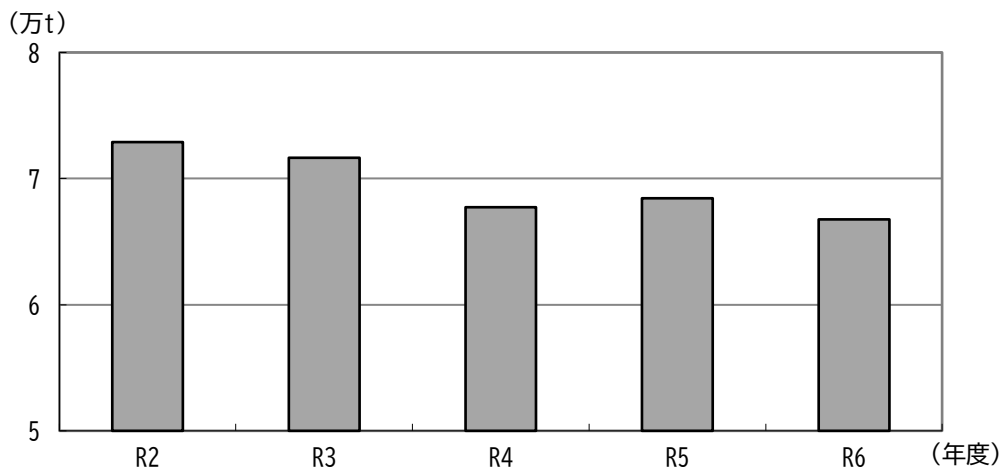


図1-3 事業系ごみ排出量の推移

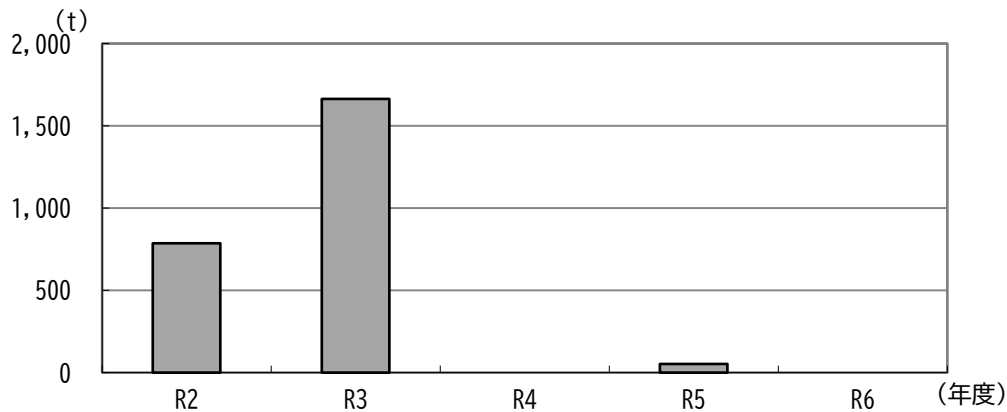


図1-4 災害廃棄物処理量の推移

## (2) 各ブロックの状況

### <東部ブロック>

#### ①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ②安来市

可燃ごみ処理は、平成 31 年 1 月 31 日に焼却施設を廃止し、民間業者に委託処理している。

#### ③奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ④雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市・飯南町事務組合で行っている。

#### ⑤出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和 6 年度東部ブロックのごみ総排出量は 145,967t (うち、生活系 95,558t、事業系 50,409t)、処理量合計は 146,043t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 884g と県平均の 892g を下回っている。

### <西部ブロック>

#### ①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、邑智郡総合事務組合に委託している。

#### ②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

#### ③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

#### ④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

令和 6 年度西部ブロックのごみ総排出量は 55,242t (うち、生活系 40,164t、事業系 15,078t)、処理量合計は 54,856t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 877g と県平均の 892g を下回っている。

<隠岐ブロック>

①海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和6年度隠岐ブロックのごみ総排出量は8,174t（うち、生活系6,907t、事業系1,267t）、処理量合計は8,174tであり、1人1日当たりごみ排出量は1,222gと県平均の892gを上回っている。

表1-2 各ブロックのごみ総排出量と処理内訳（令和6年度）

区 分	単位	東部ブロック	西部ブロック	隠岐ブロック
総人口	人	452,134	172,523	18,328
計画収集人口	人	452,134	172,523	18,328
自家処理人口	人	0	0	0
ごみ				
計画収集量	t	127,498	45,653	3,278
直接搬入量	t	18,324	9,438	4,896
総				
集団回収量	t	145	151	0
排				
合計	t	145,967	55,242	8,174
出				
生活系ごみ	t	95,558	40,164	6,907
量				
事業系ごみ	t	50,409	15,078	1,267
ごみ総処理量	t	146,043	54,856	8,174
直接焼却	t	110,761	43,279	6,162
焼却以外	t	30,672	11,060	1,753
直接埋立	t	4,610	517	259
1人1日当たりごみ排出量	g	884	877	1,222

注) 総人口は外国人を含んだ人口

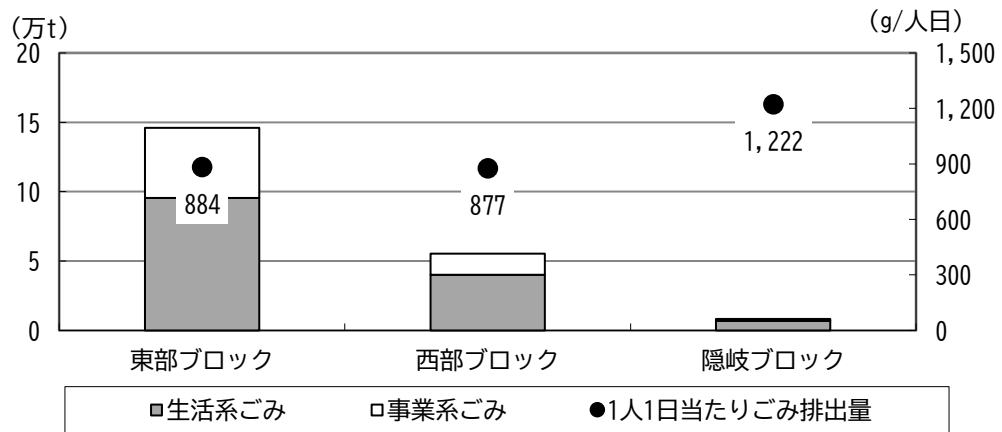


図1-5 ブロック別ごみ排出量（令和6年度）

### （3）災害廃棄物の状況

令和6年度に島根県内で災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った災害廃棄物の発生はありませんでした。

## 2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

### (1) 島根県全体の状況

県内のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

令和 6 年度に市町村から排出されたごみ量は 209,383t であり、収集内訳は、可燃ごみ 81.8%、不燃ごみ 5.3%、資源ごみ 12.3%、粗大ごみ 0.5%であった。

処理内訳では 160,202t(76.6%)が直接焼却され、43,485t(20.8%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 5,386t(2.6%)は直接埋立とされている。

島根県全体で 41,033t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 41,329t が資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

島根県全体		単位	令和6年度	
計画収集量		t	176,429	
収集内訳	可燃ごみ	t	144,361	
	不燃ごみ	t	9,317	
	資源ごみ	t	21,775	
	その他	t	41	
	粗大ごみ	t	935	
直接搬入量		t	32,658	
集団回収量		t	296	
総排出量		t	209,383	
自家処理量		t	0	
処理内訳	中間	直接焼却	t	160,202
		焼却以外	t	43,485
	最終処分	直接埋立	t	5,386
		焼却残渣	t	9,775
		破碎圧縮残渣	t	2,805
	資源化		t	41,033
処理合計		t	209,073	
リサイクル率		%	19.7	
1人1日当たりごみ排出量		g	892	

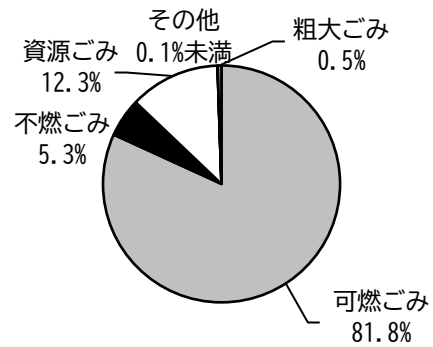


図2-1 ごみの収集内訳

※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

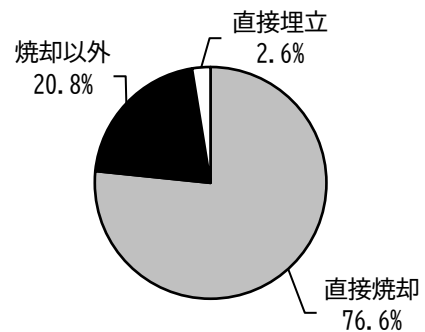


図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

## (2) 各ブロックの状況

### <東部ブロック>

東部ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

令和 6 年度に東部ブロックから排出されたごみ量は 145,967t であり、収集内訳は、可燃ごみ 81.8%、不燃ごみ 5.9%、資源ごみ 11.9%、粗大ごみ 0.3%であった。

処理内訳では 110,761t(75.8%)が直接焼却され、30,672t(21.0%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 4,610t(3.2%)は直接埋立とされている。

東部ブロックで 29,143t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 29,288t が資源化された。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

東部ブロック		単位	令和6年度	
計画収集量		t	127,498	
収集内訳	可燃ごみ	t	104,329	
	不燃ごみ	t	7,551	
	資源ごみ	t	15,183	
	その他	t	23	
	粗大ごみ	t	412	
直接搬入量		t	18,324	
集団回収量		t	145	
総排出量		t	145,967	
自家処理量		t	0	
処理内訳	中間	直接焼却	t	110,761
		焼却以外	t	30,672
	最終処分	直接埋立	t	4,610
		焼却残渣	t	6,686
		破碎圧縮残渣	t	1,370
資源化		t	29,143	
処理合計		t	146,043	
リサイクル率		%	20.0	
1人1日当たりごみ排出量		g	884	

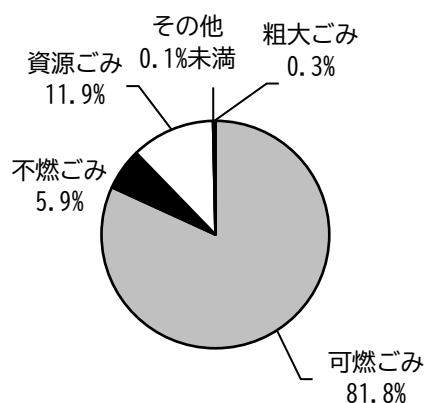


図2-3 ごみの収集内訳

※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

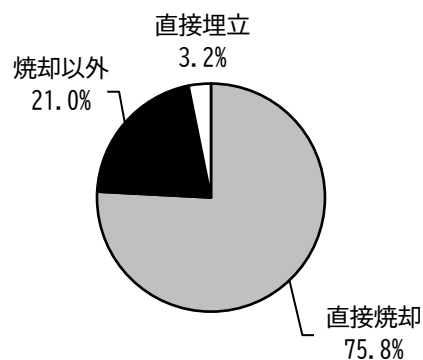


図2-4 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

## ＜西部ブロック＞

西部ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-3、ごみの収集内訳を図 2-5、ごみの処理内訳を図 2-6 に示す。

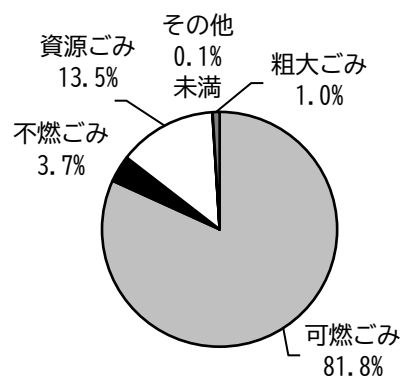
令和 6 年度に西部ブロックから排出されたごみ量は 55,242t であり、収集内訳は、可燃ごみ 81.8%、不燃ごみ 3.7%、資源ごみ 13.5%、粗大ごみ 1.0%であった。

処理内訳では 43,279t(78.9%)が直接焼却され、11,060t(20.2%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 517t(0.9%)は直接埋立とされている。

西部ブロックで 11,076t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 11,227t が資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

西部ブロック		単位	令和6年度	
計画収集量		t	45,653	
収集内訳	可燃ごみ	t	37,339	
	不燃ごみ	t	1,681	
	資源ごみ	t	6,181	
	その他	t	18	
	粗大ごみ	t	434	
直接搬入量		t	9,438	
集団回収量		t	151	
総排出量		t	55,242	
自家処理量		t	0	
処理内訳	中間	直接焼却	t	43,279
		焼却以外	t	11,060
	最終処分	直接埋立	t	517
		焼却残渣	t	2,190
		破碎圧縮残渣	t	1,268
	資源化		t	11,076
処理合計		t	54,856	
リサイクル率		%	20.4	
1人1日当たりごみ排出量		g	877	



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-5 ごみの収集内訳

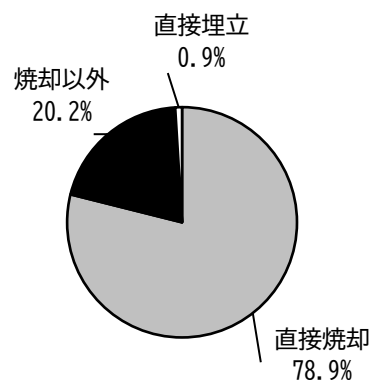


図2-6 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

## <隠岐ブロック>

隠岐ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-4、ごみの収集内訳を図2-7、ごみの処理内訳を図2-8に示す。

令和6年度に隠岐ブロックから排出されたごみ量は8,174tであり、収集内訳は、可燃ごみ82.2%、不燃ごみ2.6%、資源ごみ12.5%、粗大ごみ2.7%であった。

処理内訳では6,162t(75.4%)が直接焼却され、1,753t(21.4%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り259t(3.2%)は直接埋立とされている。

隠岐ブロックで814tがごみから分別・資源化された。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

隠岐ブロック		単位	令和6年度	
計画収集量		t	3,278	
収集内訳	可燃ごみ	t	2,693	
	不燃ごみ	t	85	
	資源ごみ	t	411	
	その他	t	0	
	粗大ごみ	t	89	
直接搬入量		t	4,896	
集団回収量		t	0	
総排出量		t	8,174	
自家処理量		t	0	
処理内訳	中間	直接焼却	t	6,162
		焼却以外	t	1,753
	最終処分	直接埋立	t	259
		焼却残渣	t	899
		破碎圧縮残渣	t	167
	資源化		t	814
処理合計		t	8,174	
リサイクル率		%	10.0	
1人1日当たりごみ排出量		g	1,222	

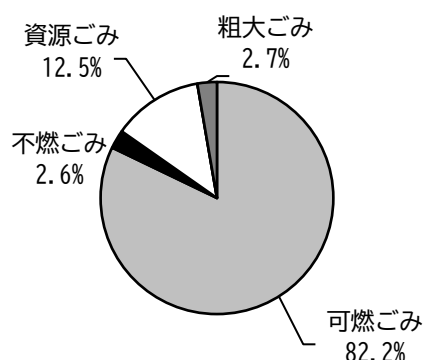


図2-7 ごみの収集内訳

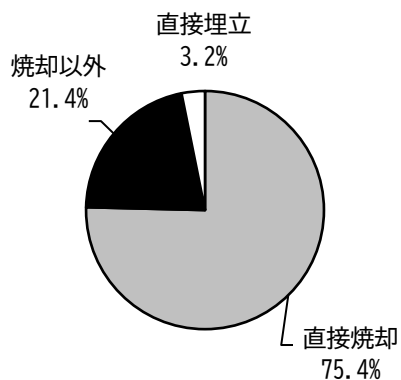


図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

### 3. ごみ処理施設の状況

#### (1) 島根県全体の状況

令和6年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-1、2に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は10施設(処理能力713.86t/日)、ごみ燃料化施設は、1施設(処理能力41t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は2施設、資源化等の施設は16施設、粗大ごみ処理施設は12施設、保管施設は13施設である。

埋立中の最終処分場は21施設あり、全体埋立容量は1,869,321m<sup>3</sup>、残余容量は490,402.4m<sup>3</sup>となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 <sup>※1</sup>	処理能力	残余容量 (年度末)
ごみ焼却施設	10	713.86 t/日	-
ごみ燃料化施設	1	41 t/日	-
中継施設	2	44 t/日	-
資源化等の施設	16	196.07 t/日	-
粗大ごみ処理施設	12	227.9 t/日	-
保管施設	13	13,313.16 t/年度 <sup>※2</sup>	-
最終処分場 <sup>※1</sup>	21	1,869,321 m <sup>3</sup>	490,402.4 m <sup>3</sup>

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和6年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却			ガス化熔融 全連続	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	准連続	バッチ			
炉型式						
施設数	2	1	5	2	1	11
規模(t/日)	262	40	58.86	353	41	754.86

※ごみ燃料化施設(RDF)及びガス化熔融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

## (2) 各ブロックの状況

### <東部ブロック>

#### ① 松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は4施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は701,641m<sup>3</sup>、残余容量は86,835m<sup>3</sup>となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	255 t/日	—
資源化等の施設	4	96 t/日	—
粗大ごみ処理施設	1	59 t/日	—
保管施設	3	7,948 t/年度 <sup>※2</sup>	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	2	701,641 m <sup>3</sup>	86,835 m <sup>3</sup>

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和6年度保管量である。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255 t/日	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続運転

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況を表 3-5 に示す。

粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 74,147m<sup>3</sup>、残余容量は 41,838m<sup>3</sup>となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施 設	施設数	処理能力	残余容量 (年度末)
粗大ごみ処理施設	2	26.9 t/日	-
最終処分場	2	74,147 m <sup>3</sup>	41,838 m <sup>3</sup>

② 奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-6、7 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 20 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 61,800m<sup>3</sup>、残余容量は 9,856m<sup>3</sup>となっている。

表3-6 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	20 t/日	-
粗大ごみ処理施設	1	7 t/日	-
最終処分場	1	61,800 m <sup>3</sup>	9,856 m <sup>3</sup>

表3-7 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20 t/日	焼却	バッチ

④雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-8～10に示す。

雲南市の可燃ごみのうち、雲南市大東町・加茂町・木次町・三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。雲南市吉田町・掛合町と飯南町の可燃ごみは中継施設にて積み替えし、雲南エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m<sup>3</sup>、残余容量は9,524m<sup>3</sup>となっている。

表3-8 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ燃料化施設	1	41 t/日	-
中継施設	1	15 t/日	-
資源化等の施設	2	14.9 t/日	-
保管施設	2	894 t/年度 <sup>※1</sup>	-
最終処分場	3	41,300 m <sup>3</sup>	9,524 m <sup>3</sup>

※1. 保管施設の処理能力は、令和6年度保管量である。

表3-9 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	41 t/日	ごみ燃料化

表3-10 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15 t/日	圧縮・梱包、その他

⑤出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-11、12に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力200t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は2施設、粗大ごみ処理施設は3施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は522,304m<sup>3</sup>、残余容量は179,704m<sup>3</sup>となっている。

表3-11 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	200 t/日	—
資源化等の施設	2	48 t/日	—
粗大ごみ処理施設	3	83 t/日	—
保管施設	3	1,228 t/年度 <sup>※1</sup>	—
最終処分場	4	522,304 m <sup>3</sup>	179,704 m <sup>3</sup>

※1. 保管施設の処理能力は、令和6年度保管量である。

表3-12 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	200 t/日	焼却	全連続運転

＜西部ブロック＞

① 大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-13、14 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎処理後、邑智クリーンセンター可燃ごみ共同処理施設へ搬出している。

資源化等の施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 50,000m<sup>3</sup>、残余容量は 39,762m<sup>3</sup>となっている。

表3-13 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量（年度末）
中継施設	1	29 t/日	－
資源化等の施設	2	6.9 t/日	－
粗大ごみ処理施設	1	8 t/日	－
保管施設	2	736 t/年度 <sup>※1</sup>	－
最終処分場	1	50,000 m <sup>3</sup>	39,762 m <sup>3</sup>

※1. 保管施設の処理能力は、令和 6 年度保管量である。

表3-14 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	29 t/日	破碎

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-15、16に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力40t/日)で、准連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は40,300m<sup>3</sup>、残余容量は22,955m<sup>3</sup>となっている。

表3-15 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	40 t/日	—
資源化等の施設	1	1.7 t/日	—
粗大ごみ処理施設	1	5 t/日	—
保管施設	1	1,512 t/年度 <sup>※1</sup>	—
最終処分場	1	40,300 m <sup>3</sup>	22,955 m <sup>3</sup>

※1. 保管施設の処理能力は、令和6年度保管量である。

表3-16 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	邑智クリーンセンター 可燃ごみ共同処理施設	40 t/日	焼却	准連続運転

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-17、18 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 124,900m<sup>3</sup>、残余容量は 67,742m<sup>3</sup>となっている。

表3-17 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	98 t/日	—
資源化等の施設	1	2.77 t/日	—
粗大ごみ処理施設	2	34 t/日	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	2	124,900 m <sup>3</sup>	67,742 m <sup>3</sup>

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-18 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーン センター	98 t/日	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-19、20に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は149,729m<sup>3</sup>、残余容量は8,320m<sup>3</sup>となっている。

表3-19 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	62 t/日	-
資源化等の施設	2	22.1 t/日	-
保管施設	1	954 t/年度 <sup>※2</sup>	-
最終処分場	2	149,729 m <sup>3</sup>	8,320 m <sup>3</sup>

※1. 保管施設の処理能力は、令和6年度保管量である。

表3-20 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62 t/日	焼却	全連続運転

<隠岐ブロック>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-21、22に示す。

海士町のごみ焼却施設は1施設（処理能力7t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は12,000m<sup>3</sup>、残余容量は3,062m<sup>3</sup>となっている。

表3-21 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	7 t/日	-
資源化等の施設	1	1 t/日	-
粗大ごみ処理施設	1	5 t/日	-
保管施設	1	41 t/年度 <sup>※1</sup>	-
最終処分場	1	12,000 m <sup>3</sup>	3,062 m <sup>3</sup>

※1. 保管施設の処理能力は、令和6年度保管量である。

表3-22 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
海士町	海士町 清掃センター	7 t/日	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-23、24 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 5.3t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 11,200m<sup>3</sup>、残余容量は 9,302m<sup>3</sup>となっている。

表3-23 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	5.3 t/日	-
最終処分場	1	11,200 m <sup>3</sup>	9,302 m <sup>3</sup>

表3-24 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町ごみ焼却場 「清美苑」	5.3 t/日	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-25、26 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-25 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	1.56 t/日	-

表3-26 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56 t/日	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-27、28 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m<sup>3</sup>、残余容量は 11,502m<sup>3</sup>となっている。

表3-27 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	25 t/日	-
資源化等の施設	1	2.7 t/日	-
最終処分場	1	80,000 m <sup>3</sup>	11,502 m <sup>3</sup>

表3-28 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25 t/日	焼却	バッチ

## 4. ごみ減量化・資源化状況

### (1) 島根県全体の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

令和6年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は41,033tであった。その内、紙類が8,863t(21.6%)で最も多く、次に、熔融スラグ6,364t(15.51%)、固形燃料5,607t(13.66%)であった。

また、集団回収により資源化された量は296tであり、紙類が256t(86.5%)とほとんどを占めている。

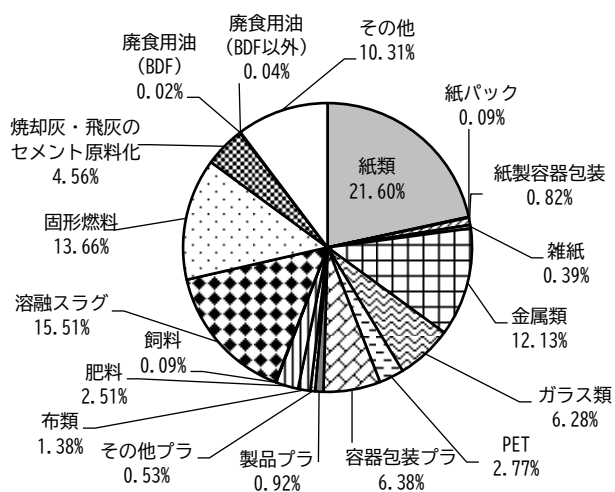
表4-1 資源化の状況

(単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製 容器包装	雑紙	金属類	ガラス類	PET
市町村	8,863	37	335	161	4,976	2,578	1,136
集団回収	256	1	0	0	4	1	0

区分	容器包装 プラ	製品プラ	その他 プラ	布類	肥料	飼料	熔融 スラグ
市町村	2,619	377	216	567	1,031	38	6,364
集団回収	0	0	0	26	0	0	0

区分	固形燃料	焼却灰・飛灰の セメント原料化	廃食用油 (BDF)	廃食用油 (BDF以外)	その他	計
市町村	5,607	1,871	10	18	4,229	41,033
集団回収	0	0	0	0	8	296



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

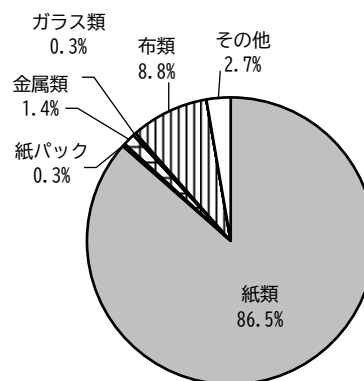


図4-1 市町村による資源化の内訳

図4-2 集団回収の内訳

(2) 各ブロックの状況

<東部ブロック>

東部ブロックにおける資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3、集団回収の内訳を図4-4に示す。

令和6年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は29,143tであった。その内、紙類が5,246t(18.0%)で最も多く、次に、熔融スラグ5,102t(17.51%)、固形燃料5,073t(17.41%)であった。

また、集団回収により資源化された量は145tであり、紙類が132t(91.0%)とほとんどを占めている。

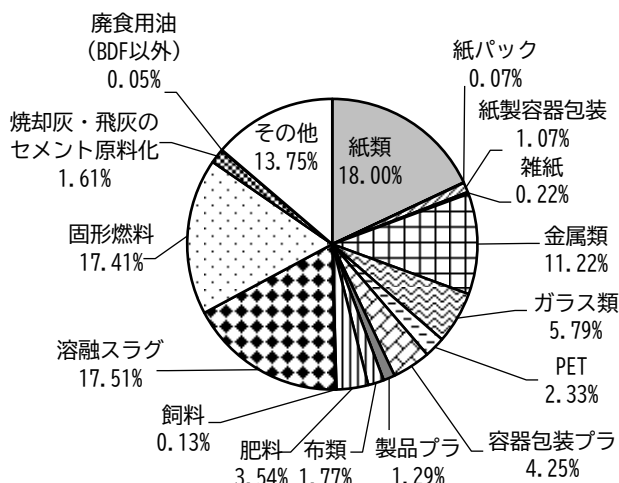
表4-2 資源化の状況

(単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	雑紙	金属類	ガラス類	PET
市町村	5,246	21	312	64	3,269	1,686	678
集団回収	132	0	0	0	0	0	0

区分	容器包装プラ	製品プラ	その他プラ	布類	肥料	飼料	熔融スラグ
市町村	1,239	377	0	516	1,031	38	5,102
集団回収	0	0	0	13	0	0	0

区分	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油(BDF)	廃食用油(BDF以外)	その他	計
市町村	5,073	470	0	14	4,007	29,143
集団回収	0	0	0	0	0	145



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

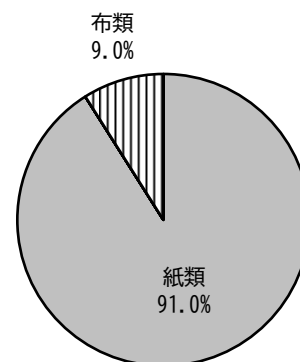


図4-4 集団回収の内訳

## <西部ブロック>

西部ブロックにおける資源化の状況を表4-3、市町村による資源化の内訳を図4-5、集団回収の内訳を図4-6に示す。

令和6年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は11,076tであった。その内、紙類が3,140t(28.35%)で最も多く、次に、金属類1,574t(14.21%)、焼却灰・飛灰のセメント原料化1,401t(12.65%)であった。

また、集団回収により資源化された量は151tであり、紙類が124t(82.1%)とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況 (単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	雑紙	金属類	ガラス類	PET
市町村	3,140	16	23	97	1,574	826	413
集団回収	124	1	0	0	4	1	0

区分	容器包装プラ	製品プラ	その他プラ	布類	肥料	飼料	溶融スラグ
市町村	1,380	0	216	51	0	0	1,262
集団回収	0	0	0	13	0	0	0

区分	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油(BDF)	廃食用油(BDF以外)	その他	計
市町村	534	1,401	10	0	133	11,076
集団回収	0	0	0	0	8	151

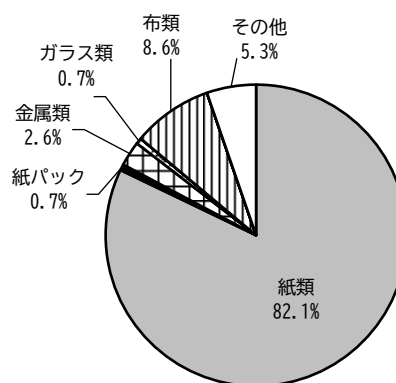
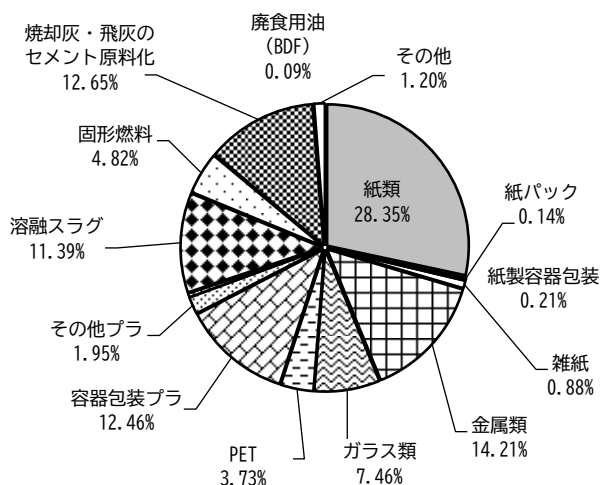


図4-5 市町村による資源化の内訳

図4-6 集団回収の内訳

<隠岐ブロック>

隠岐ブロックにおける資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-7に示す。

令和6年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は814tであった。その内、紙類が477t(58.6%)で最も多く、次に、金属類133t(16.34%)であった。

表4-4 資源化の状況 (単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製 容器包装	雑紙	金属類	ガラス類	PET
市町村	477	0	0	0	133	66	45

区分	容器包装 プラ	製品プラ	その他 プラ	布類	肥料	飼料	溶融 スラグ
市町村	0	0	0	0	0	0	0

区分	固形燃料	焼却灰・飛灰の セメント原料化	廃食用油 (BDF)	廃食用油 (BDF以外)	その他	計
市町村	0	0	0	4	89	814

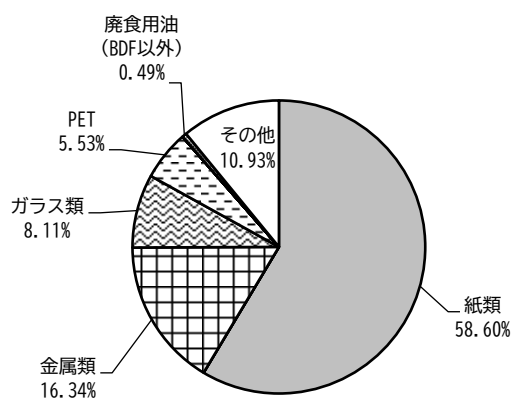


図4-7 市町村による資源化の内訳

## 5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

令和7年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和7年12月1日現在）について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-2～6、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-7、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体が11自治体と最も多く、次にイベントの開催が7自治体、パンフレットの作成、廃棄物減量化等協議会開催が5自治体となっている。予算については、不法投棄防止関連事業、イベントの開催が高い。

表5-1 令和7年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和7年12月1日現在）

事業名	事業の概要	市町村	当初予算額
パンフレット作成	子ども用パンフレット、ごみ収集カレンダー量、ごみ啓発広告等	松江市、安来市 奥出雲町、大田市 江津市	1,543千円
啓発用映像資料		大田市	200千円
社会科等副読本の作成	小学校の郷土学習資料でごみ処理の現状を紹介	出雲市	2,395千円
廃棄物減量化等協議会開催	定例審議会、臨時審議会の開催	大田市、浜田市 益田市、吉賀町 隠岐の島町	949千円
イベントの開催	環境フェスティバル、地球温暖化対策フェア、エコクッキング教室等	松江市、安来市 奥出雲町、出雲市、 江津市、益田市、 隠岐の島町	3,875千円
資源ごみ回収団体への助成	住民団体が行う資源回収への助成	松江市、益田市 津和野町	585千円
資源ごみ回収機器の貸出		大田市	347千円
不法投棄防止関連事業	不法投棄監視パトロール、不法投棄防止に係る看板設置、監視カメラ、河川清掃、処分費等	松江市、安来市 奥出雲町、雲南市 出雲市、大田市 川本町、邑南町 浜田市、益田市、 益田地区広域市町村圏 事務組合	7,869千円
生ごみ堆肥化装置の設置補助	生ごみ堆肥化容器、電気式生ごみ処理器への補助	益田市、津和野町 隠岐の島町、西ノ島町	1,437千円
その他	出前講座、学習会の開催、インクカートリッジ回収、生ごみ処理器の体験学習会、漂着物調査等	松江市、雲南市 出雲市、津和野町 益田地区広域市町村圏 事務組合	3,388千円
合 計		-	22,588千円

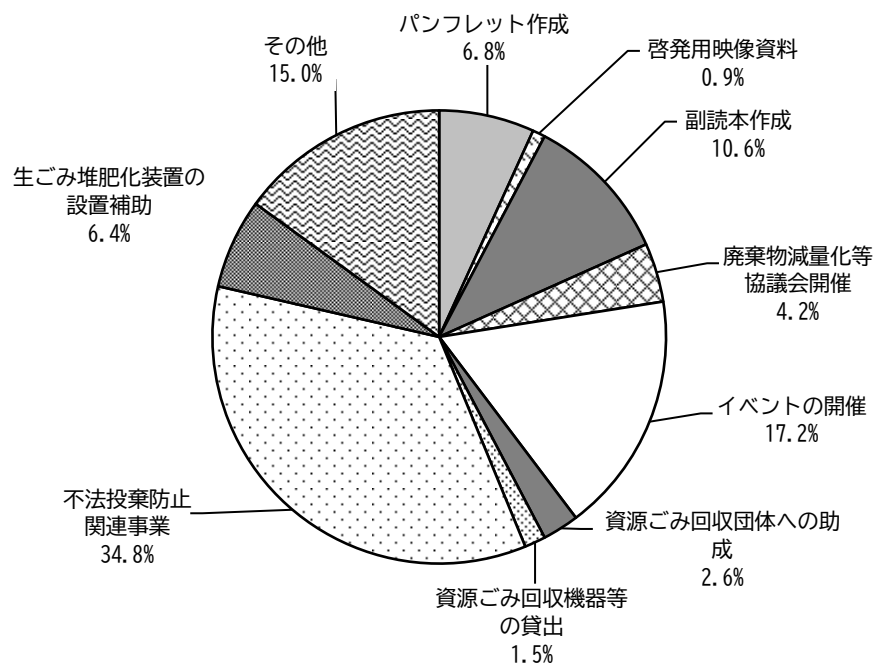


図5-1 令和7年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳  
(令和7年12月1日現在)

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和7年12月1日現在

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり換算	
松江市	可燃	半透明(さくら色) シール(粗大) シール(1円証紙)	10/20/30/45 L	13/27/40/61 円 763 円 1 円	高密度ポリエチレン ユボ紙 コート紙
	不燃	透明(水色) シール(粗大)	20/30/45 L	14/16/19 円 763 円	低密度ポリエチレン ユボ紙
	資源	透明	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	半透明(緑色) シール(粗大)	10/20/50L	22/33/44 円 シール 254 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青色) シール(粗大)	5/10/20/50L	11/22/33/44 円 シール 254 円	低密度ポリエチレン
	資源(びん)	半透明(オレンジ)	10/20L	11/16.3 円	低密度ポリエチレン
	資源(缶)	半透明(グレー)	20/50L	16.3/22 円	
資源(ペット・プラ)	半透明(水色)	20/50L	16.3/22 円		
出雲市	可燃	半透明(白色)	10/20/40L	15/31/52 円	高密度ポリエチレン
	不燃(破碎ごみ)	透明(黄色)	20/40L	31/52 円	低密度ポリエチレン
	不燃(埋立ごみ)	透明(赤色)	20/40L		
	資源	透明(無色)	20/40L	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(黄色)	800×650 mm 700×550 mm 600×500 mm	61 円 41 円 31 円	高密度ポリエチレン
	不燃	袋に入らない物	シール 2 枚	61 円	
		半透明(緑色)	(大)850×650 mm (小)700×550 mm	51 円 31 円	高密度ポリエチレン (ハイマスプラスチック 10%混入)
	資源 (容器包装物のみ)	袋に入らない物	シール 1 枚	61 円	
資源	透明	860×650 mm 690×540 mm	20 円 15 円	高密度ポリエチレン	
大田市	可燃	黄	20/30/45L	24/36/60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	白	20/30/45L	24/36/60 円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明	30/45L	16/22 円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45L	26/37/47 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃	半透明(白) シール(粗大)	15/30/45L	15/30/45 円 シール 100 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白) シール(粗大)	15/30/45L	15/30/45 円 シール 100 円	高密度ポリエチレン
雲南市	可燃	半透明(オレンジ)	20/30/45L (手さげ型)	30/40/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	30/45 L	26/47 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤字)	30/45 L		低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45 L		低密度ポリエチレン

注)色、材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和7年12月1日現在

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり換算	
飯南町	可燃	半透明(オレンジ)	20/30/45 L	30/40/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25 L	16.5 円	ビン：低密度ポリエチレン その他： 高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
美郷町	可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビン：低密度ポリエチレン その他： 高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
邑南町	可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビン：低密度ポリエチレン その他： 高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
津和野町	可燃	半透明(オレンジ)	15/45L	30/51 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(無色) 半透明(無色)	15/45L	30/51 円	低密度ポリエチレン 高密度ポリエチレン
吉賀町	可燃	半透明	450×800 mm	51 円	ハイHDPE (高密度ポリエチレン)
			360×800 mm	34 円	
			360×600 mm	25.5 円	
	資源(容器プラ) (商品プラ) (カン類) (ビン類)	半透明	450×980 mm 450×980 mm 450×980 mm 400×800 mm	51 円	ハイHDPE (高密度ポリエチレン)
海士町	可燃	チケット		70 円	紙
	不燃	チケット		70 円	紙
	資源	チケット		70 円	紙
知夫村	可燃	半透明(橙色)	15/20/30 L	30/60/100 円	ハイHDPE PE
	資源	半透明(橙色)	30/45 L ※ビンは30Lのみ	70/140 円	ハイHDPE PE

注)色、材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和7年12月1日現在

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
西ノ島町	可燃	半透明(黄色)	15/30/45L	27/55/82円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃	半透明(青色)	30/45L	55/82円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
		袋に入らない物	粗大ごみシール	820円	
隠岐の島町	可燃	半透明(赤)	20/30/45L	34/51/77円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃	半透明(黄)	20/45L	34/77円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
	資源	半透明(白)	45L	15円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
雲南市・飯南町 事務組合	可燃	半透明(オレンジ)	20/30/45 L	30/40/50円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
	資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
鹿足郡不燃物 処理組合	不燃	半透明	45 L	51円	バイオ HDPE 高密度 <sup>※</sup> リフレ

注)色、材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

令和7年12月1日現在

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45 L	設定なし	炭酸加減10%配合 高密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃	透明(黄)	30/45 L	設定なし	低密度 <sup>※</sup> リフレ
浜田市	可燃	半透明(黄色)	50 L	88円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃	半透明(ピンク)	50 L	88円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
	資源	半透明(茶色)	50 L	44円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
出雲市	可燃	半透明(白色)	40 L	125円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃(破碎ごみ)	透明(黄色)	40 L	125円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃(埋立ごみ)	透明(赤色)			
益田市	可燃	半透明(青色)	800×650 mm	102円	高密度 <sup>※</sup> リフレ (バイオマス <sup>※</sup> ラフック 10%混入)
大田市	可燃	緑	45 L 650 mm×800 mm	130円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
安来市	可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	26/37/47円 +事業用収集券 104円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45 L	26/31/37円 +事業用収集券 104円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
江津市	可燃	半透明(白) シール(粗大)	15/30/45L	15/30/45円 シール 100円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
雲南市	可燃	半透明(オレンジ)	20/30/45L (手さげ型)	30/40/50円	高密度 <sup>※</sup> リフレ
	不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44円	低密度 <sup>※</sup> リフレ
	資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44円	低密度 <sup>※</sup> リフレ

注)色、材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-6 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

令和7年12月1日現在

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
奥出雲町		可燃	乳白色(青字)	30/45 L	26/47 円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明(赤字)	30/45 L		低密度ポリエチレン
		資源	透明	30/45 L		低密度ポリエチレン
飯南町		可燃	半透明(オレンジ)	20/30/45L	30/40/50 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
津和野町		可燃	半透明(オレンジ)	15/45L	30/51 円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明(無色)	15/45L	30/51 円	低密度ポリエチレン
			半透明(無色)			高密度ポリエチレン
吉賀町		可燃	半透明	450×800 mm	51 円	ポリエチレン HDPE (高密度ポリエチレン)
				360×800 mm	34 円	
				360×600 mm	25.5 円	
		資源(容器類) (商品類) (カン類) (ビン類)	半透明	450×980 mm	51 円	
450×980 mm						
400×800 mm						
海士町		可燃	チケット		70 円	紙
		不燃	チケット		70 円	紙
		資源	チケット		70 円	紙

注)色、材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-7 生ごみ堆肥化装置の設置補助(令和7年度)

市町村名	補助基準	備考
益田市	補助率：1/2 限度額：コンポスト 5 千円 ：電気式 1.5 万円	
津和野町	補助率：コンポスト 1/2 電気式 1/3 限度額：コンポスト 3.5 千円 電気式 2 万円	コンポスト(1 世帯当たり 2 基まで) 電気式生ごみ処理機(1 世帯当たり 1 基まで)
西ノ島町	補助率：町内購入 1/2 ：町外購入 1/3 限度額：町内購入 2 万円 ：町外購入 1 万円	
隠岐の島町	補助率：購入 1/3 レンタル総額 1/3 レンタル月額 1/2 限度額：3.5 万円 レンタル月額 1 千円	電気式生ごみ処理機 (1 世帯 1 基まで)

## 6. し尿処理の概要

### (1) 衛生処理人口

島根県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

令和 6 年度における県内の水洗化人口は 560,088 人 (87.1%)、非水洗化人口は 82,897 人 (12.9%) である。水洗化人口は前年度比で 0.1%増加した。なお、総人口の減少に伴い、水洗化人口の実数は令和 2 年度と比べて 1.3%減少しているものの、水洗化率は上昇傾向にある。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

区 分	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
総人口	人	673,778	666,659	659,863	650,969	642,985
水洗化人口	人	567,564	564,410	561,123	559,577	560,088
下水道人口	人	301,950	303,223	304,211	304,589	307,686
コミュニティ・プラント人口	人	4,038	3,990	3,964	3,797	3,404
集落排水施設等人口	人	86,576	84,715	81,762	82,388	75,939
浄化槽人口	人	175,000	172,482	171,186	168,803	173,059
非水洗化人口	人	106,214	102,249	98,740	91,392	82,897
計画収集人口	人	104,282	100,476	96,989	89,690	82,551
自家処理人口	人	1,932	1,773	1,751	1,702	346
総処理量	kL/年	259,618	255,576	252,587	251,194	247,642
し尿計画処理量	kL/年	77,032	74,125	70,811	69,585	66,668
自家処理量	kL/年	994	1,049	1,067	1,081	457
浄化槽汚泥計画処理量	kL/年	181,592	180,402	180,709	180,528	180,517

注) 総人口に外国人含む。

令和 2 年度の集落排水施設等人口及び浄化槽人口は県独自調査による。

浄化槽人口=補助による合併処理浄化槽人口+その他の浄化槽人口+単独処理浄化槽人口

(千人)

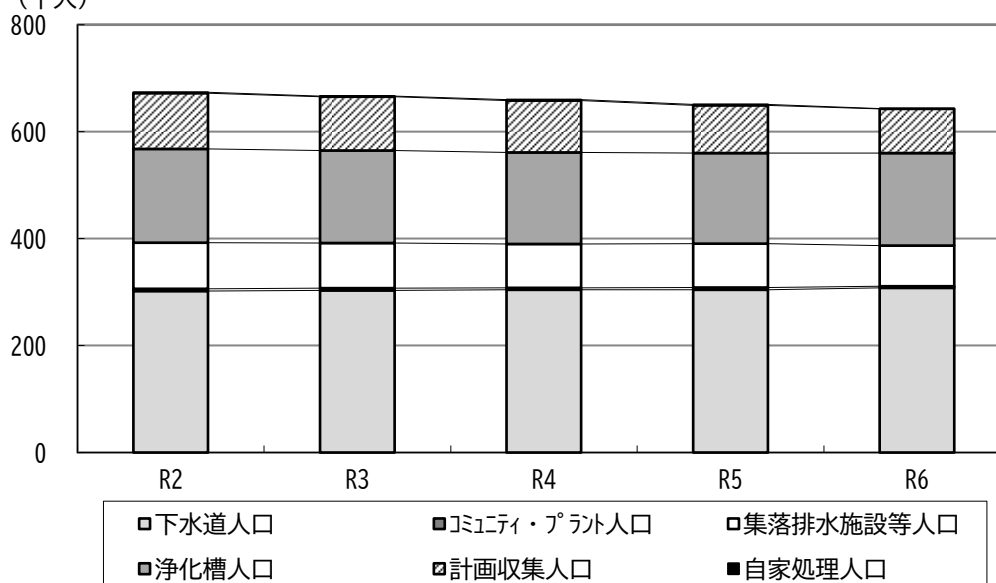
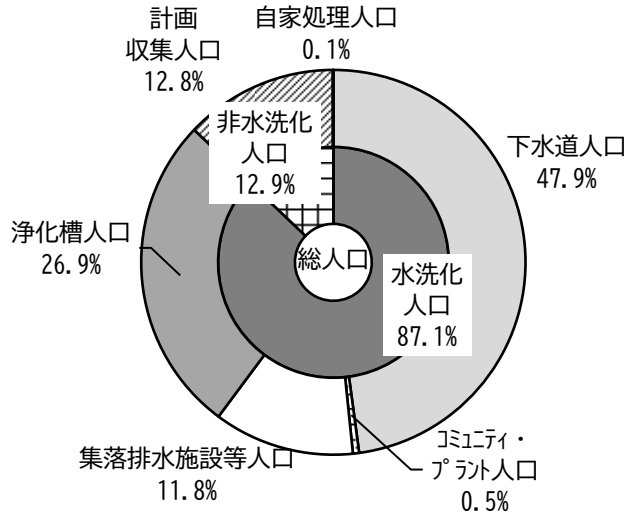


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口 (外国人含む) = 水洗化人口 + 非水洗化人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

## (2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

令和6年度における県内の総処理量は、247,642kLで、前年より約1.4%減少している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が72.9%、し尿計画処理量が26.9%、自家処理量0.2%となっている。1人1日当たりし尿計画処理量は2.21L/人日、1人1日当たり浄化槽汚泥処理量は1.96L/人日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		令和6年度
総処理量 (kL/年)		247,642
内訳	し尿計画処理量	66,668
	自家処理量	457
	浄化槽汚泥計画処理量	180,517
し尿計画処理量 (kL/年)		66,668
内訳	下水道投入	12,896
	し尿処理施設	53,764
	農地還元	8
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)		180,517
内訳	下水道投入	33,917
	し尿処理施設	146,457
	農地還元	143
1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日)		2.21
1人1日当たりし尿排出量 (L/人日)		2.22
1人1日当たり浄化槽汚泥計画処理量 (L/人日)		1.96

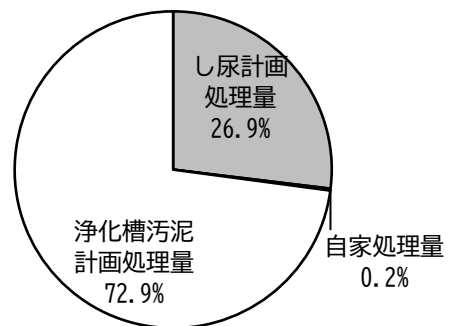


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量

1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>

1人1日当たりし尿排出量 (L/人日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>

1人1日当たり浄化槽汚泥計画処理量 (L/人日) = 浄化槽汚泥計画処理量 / 浄化槽人口 (コミュニティ・プラント人口及び集落排水施設等人口含む) / 365日 × 10<sup>3</sup>

### (3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、個人設置型浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

令和 6 年度の県内のし尿処理施設数は 9 施設（処理能力 692.4kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 8 施設（計画最大汚水量 2,134m<sup>3</sup>/日）である。

浄化槽設置基数は合計 70,862 基で、去年より 36 基増加している。

令和 6 年度の県内の浄化槽設置基数(個人設置型)は 378 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設					コミュニティ・プラント
	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	その他	合計	
施設数	1	3	4	1	9	8
規模(kL/日)	27	197	397	71.4	692.4	2,134

注1) 標脱…標準脱窒素処理方式（旧低二段） 高負荷…高負荷脱窒素処理方式 膜分離…膜分離処理方式  
注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m<sup>3</sup>/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,001人以上	合計
設置基数	70,025	647	100	90	70,862

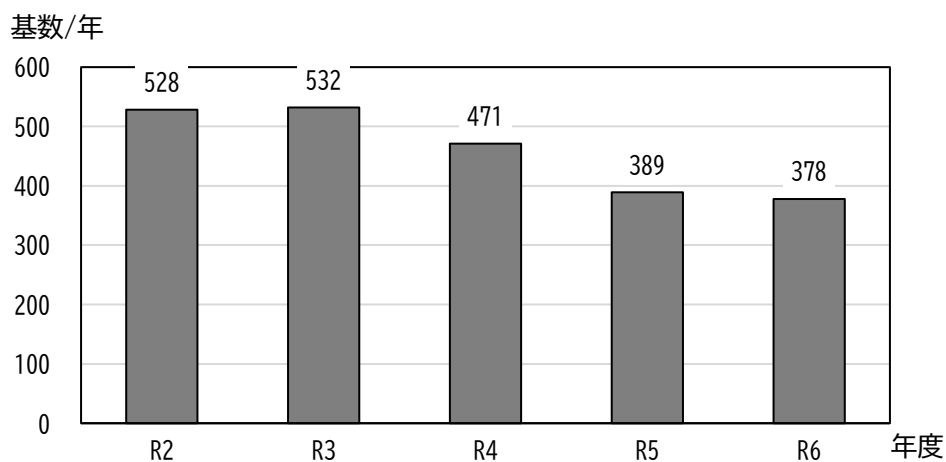


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

## 7. 一般廃棄物処理事業の実態

### 7-1 廃棄物処理事業経費の概要

#### (1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要

島根県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

令和 6 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 17,809,994 千円であり、前年より 25.2%増加している。経費の内訳はごみ処理が 15,840,567 千円、し尿処理が 1,969,427 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

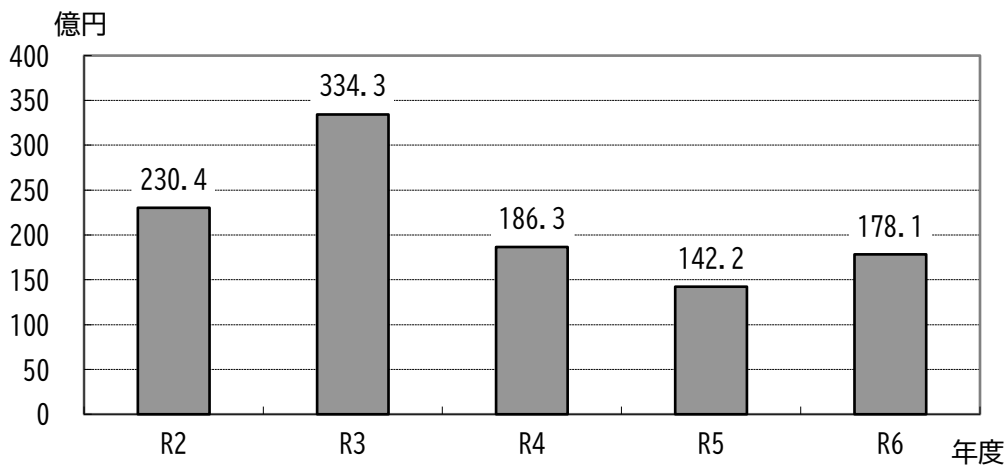


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(島根県全体)

#### (2) ブロック別のごみ処理事業経費の概要

ブロック別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、ブロック別の内訳を図 7-5 に示す。

ブロック別におけるごみ処理経費は、西部ブロックが 7,715,848 千円 (48.7%) と最も多く、次いで東部ブロック 7,426,520 千円 (46.9%)、隠岐ブロック 698,199 千円 (4.4%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(島根県全体)

(令和6年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	1,576,138	5,277	2,268,400	2,256,381	4,774,963	986,543	8,747,828	15,840,567
し尿	32,201	0	202,376	231,752	510,114	13,249	1,489,849	1,969,427
計	1,608,339	5,277	2,470,776	2,488,133	5,285,077	999,792	10,237,677	17,809,994

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(島根県全体)

(令和6年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合 分担金)	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合 分担金)	調査 研究費			小計
	収集運搬 施設	中間処理 施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	4,300,315	102,151	186	47,851	692,300	4,450,503	1,123,755	108,614	1,076,832	216,843	56,097	2,691,818	4,880,333	152,458	160,198	4,082,663	19,882	10,486,830	903,234	15,840,567
し尿	0	233,708	0	0	3,080	135,649	236,788	180,822	63,370	294,434	0	0	95,021	1,058,671	5,447	3,036	374,465	10,413	1,711,214	21,425	1,969,427
計	0	4,534,023	102,151	186	50,931	827,949	4,687,291	1,304,577	171,984	1,371,266	216,843	56,097	2,786,839	5,939,004	157,905	163,234	4,457,128	30,295	12,198,044	924,659	17,809,994

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

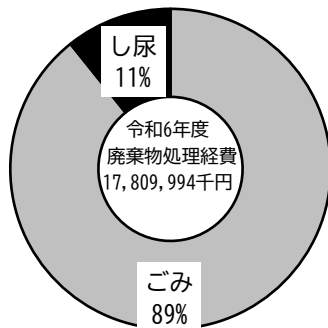


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳(島根県全体)

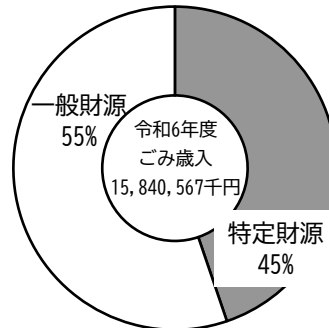


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(島根県全体)

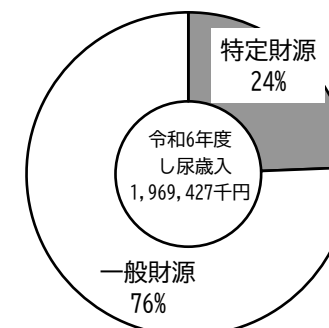


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(島根県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村)

(令和 6 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
ごみ	227,125	5,277	2,268,400	2,019,568	915,424	8,509,164	13,944,958
し尿	0	0	202,376	213,189	13,245	1,483,411	1,912,221
計	227,125	5,277	2,470,776	2,232,757	928,669	9,992,575	15,857,179

表 7-4 歳出の内訳(市町村)

(令和 6 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				組合 分担金	調査研 究費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	689,517	102,151	0	31,178	692,300	1,515,146	927,309	108,559	616,882	203,244	56,097	2,465,005	2,972,701	114,252	89,956	4,082,663	0	11,636,668	793,144	13,944,958
し尿	0	68,110	0	0	3,080	135,649	206,839	142,244	63,370	237,137	0	0	83,361	797,101	0	3,036	374,465	0	1,700,714	4,668	1,912,221
計	0	757,627	102,151	0	34,258	827,949	1,721,985	1,069,553	171,929	854,019	203,244	56,097	2,548,366	3,769,802	114,252	92,992	4,457,128	0	13,337,382	797,812	15,857,179

表 7-5 歳入の内訳(事務組合)

(令和 6 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	1,349,013	0	0	236,813	4,774,963	71,119	238,664	6,670,572
し尿	32,201	0	0	18,563	510,114	4	6,438	567,320
計	1,381,214	0	0	255,376	5,285,077	71,123	245,102	7,237,892

表 7-6 歳出の内訳(事務組合)

(令和 6 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費											その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				調査 研究費	小計		
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	3,610,798	0	186	16,673	3,627,657	196,446	55	459,950	13,599	0	226,813	1,907,632	38,206	70,242	19,882	2,932,825	110,090	6,670,572
し尿	0	165,598	0	0	0	165,598	38,578	0	57,297	0	0	11,660	261,570	5,447	0	10,413	384,965	16,757	567,320
計	0	3,776,396	0	186	16,673	3,793,255	235,024	55	517,247	13,599	0	238,473	2,169,202	43,653	70,242	30,295	3,317,790	126,847	7,237,892

表 7-7 ブロック別ごみ処理経費の歳入の内訳

(令和6年度, 単位: 千円)

ブロック	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
東部ブロック	188,625	0	481,500	1,693,014	660,579	841,375	4,222,006	7,426,520
西部ブロック	1,387,513	5,277	1,634,500	470,723	4,114,384	136,598	4,081,237	7,715,848
隠岐ブロック	0	0	152,400	92,644	0	8,570	444,585	698,199
合計	1,576,138	5,277	2,268,400	2,256,381	4,774,963	986,543	8,747,828	15,840,567

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 ブロック別ごみ処理経費の歳出の内訳

(令和6年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費												その他	合計
	工事費				調査費	(組合 分担金)	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合 分担金)	調査 研究費	小計		
	収集運搬 施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
東部ブロック	0	474,631	90,648	0	31,178	0	596,457	638,762	16,743	753,901	193,451	40,209	1,857,947	2,496,424	52,233	17,542	660,579	0	6,067,212	762,851	7,426,520
西部ブロック	0	3,690,612	0	186	16,673	692,300	3,707,471	438,286	79,029	232,791	15,306	10,393	730,500	2,107,514	93,826	142,656	3,422,084	19,882	3,870,183	138,194	7,715,848
隠岐ブロック	0	135,072	11,503	0	0	0	146,575	46,707	12,842	90,140	8,086	5,495	103,371	276,395	6,399	0	0	0	549,435	2,189	698,199
合計	0	4,300,315	102,151	186	47,851	692,300	4,450,503	1,123,755	108,614	1,076,832	216,843	56,097	2,691,818	4,880,333	152,458	160,198	4,082,663	19,882	10,486,830	903,234	15,840,567

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

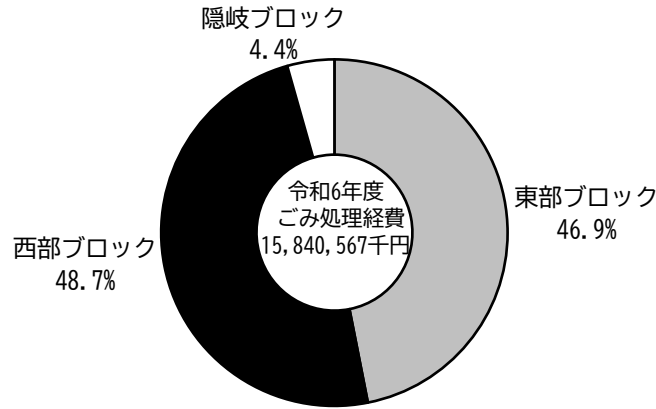


図 7-5 ブロック別ごみ処理経費の内訳

## 7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。

令和 6 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 218 人である。

内訳は、ごみ処理が 192 人、し尿処理が 26 人である。

表 7-9 従事職員の状況

区 分	単 位	ご み			し 尿			合 計			
		市町村	事務組合	計	市町村	事務組合	計	市町村	事務組合	計	
一般職	事務系	人	99	15	114	13	3	16	112	18	130
	技術系	人	23	5	28	4	4	8	27	9	36
技能職	収集・運搬	人	22	0	22	0	0	0	22	0	22
	中間処理	人	19	7	26	0	0	0	19	7	26
	最終処分	人	2	0	2	0	0	0	2	0	2
	その他	人	0	0	0	2	0	2	2	0	2
合 計	人	165	27	192	19	7	26	184	34	218	

## 7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。

令和 6 年度末における委託・許可件数は市町村では 410 件、事務組合では 110 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況

区 分		単 位	市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)	件	138	33
	許可業(法第7条)	件	203	69
し尿	委託業(法第6条)	件	10	5
	許可業(法第7条)	件	59	3
合 計		件	410	110

## 7-4 一般廃棄物処理業者等関係

令和 6 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	単 位	ご み	し 尿	合 計
業者数	件	173	41	202

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	単 位	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	人	1,988	348	11	2,340

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

## 8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値( ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				
		R6 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	排出 基準	備考
松江市 エコクリーン松江	BF	<b>0.0000026</b>	0.002	0.00015	1	
		<b>0.0000023</b>	0.00031	0.00066		
		<b>0.0000027</b>	0.000042	0.00021		
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	-	0.64	0.68	5	
		<b>1</b>	1.5	0.39		
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	<b>0.00067</b>	0.003	0.0014	0.1	
		<b>0.0006</b>	0.018	0.0032		
邑智郡総合事務組合 邑智クリーンセンター 可燃ごみ共同処理施設	BF	<b>0.049</b>	0.041	0.019	5	
		<b>0.059</b>	0.062	0.0085		
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	<b>0.00022</b>	0.008	0.0000021	1	
		<b>0.0011</b>	0.0009	0.000045		
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	<b>0.000069</b>	0	0.00032	5	
		<b>0.0019</b>	0	0.00028		
隠岐の島町 島後清掃センター	BF	<b>1.9</b>	3.8	1.8	10	
		<b>3.1</b>		1.8		
海士町 海士町清掃センター	BF	<b>0.011</b>	0.032	0.018	10	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	<b>0.15</b>	0.054	0.028	5	
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	<b>0.95</b>	3.9	1.4	5	

注) 集塵方式において、BF=バグフィルター、\*=二次燃焼重力沈降方式。

エコクリーン松江、出雲エネルギーセンターの数値は各炉年間測定の最大値を示す。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」

資料：松江市「大気基準適用施設の設置者による測定結果」